

阿蘇医療センター

病院概要説明



熊本県ではじめて



阿蘇圏域ではじめて

阿蘇医療センター

病院開設者：佐藤義興 阿蘇市長

病院事業管理者：甲斐 豊（兼院長）

■病床数

一般病床120床・感染症病床4床

（10対1入院基本料：103床、地域包括ケア：21床）

■診療科

内科、循環器内科、脳神経内科、消化器内科、小児科、脳神経外科、消化器外科、整形外科、
リウマチ膠原病内科、リハビリテーション科、乳腺内分泌外科、糖尿病・代謝・内分泌内科、
血液内科、腫瘍内科、呼吸器内科、耳鼻咽喉科、腎臓内科、婦人科、皮膚科、歯科口腔外科

■職員数（令和4年3月31日現在）

医師11名（30名）、看護職85名（14名）、コメディカル38名（5名）
その他（事務など）16名（9名） 計208名（ ）内は非常勤数

■病院建物構造 鉄筋コンクリート造（一部4階建）

外来棟（耐震構造）、中央診療棟、病棟（免震構造）

建築面積：約6,064㎡、延床面積：約11,336㎡、

敷地面積：約26,335㎡

ヘリポート面積：約1,225㎡



平成26年8月6日 開院

第7次阿蘇地域保健医療計画（平成30年～令和4年）

第1編 はじめに

○第7次阿蘇地域保健医療計画は、阿蘇地域における保健医療施策の基本的な計画として、第7次熊本県保健医療計画と一体的に推進するもので、阿蘇地域における現状や課題を整理し、阿蘇地域の特性に応じた体制整備や課題解決に向けた重点的な取組等を記載。

基本目標

安全安心な暮らしに向けた、一人ひとりの健康づくりと地域における保健医療の提供

第2編 基本計画

施策の柱①

高齢になってもいつまでも元気でいられるための一生涯を通じた健康づくり

(1) 生涯を通じた健康づくりの推進

健康寿命を延伸するため、栄養・食生活、身体活動・運動、喫煙、飲酒、歯・口腔の各方面からの健康づくりの取組を推進。

(2) 生活習慣病の発症・重症化予防

健診の実施体制の充実や関係機関・団体との連携による切れ目のない保健医療サービスの提供。

施策の柱②

住み慣れた地域で安心して生活できる保健医療体制の充実

(1) 住民・患者の立場に立った保健医療施策の推進

① 医療機能の適切な分化と連携

将来にわたって効果的な医療提供体制を構築するため、地域の医療機関相互の連携を強化。

② 地域の保健医療を支える人材の確保・育成

地域の医療機関等の魅力を学生へ発信、安定した人材確保の基盤づくり、働きやすい職場環境づくり、スキルアップ支援、住民への普及啓発。

(2) 疾病に応じた保健医療施策の推進

① がん

予防・早期発見、がん患者や家族の生活の質の向上、正しい知識の周知。

② 糖尿病

発症・重症化予防のための連携体制整備、療養生活支援のための体制整備。

③ 認知症

予防・早期発見・早期支援、住民への啓発、関係者の資質向上。

④ 難病

療養生活の質の向上。

(3) 特定の課題に応じた保健医療施策の推進

① 在宅医療

関係機関・多職種による連携、阿蘇在宅医療システム研究会の協働。

② 救急医療

阿蘇救急医療圏の見直し、平成28年熊本地震の影響に伴う阿蘇地域孤立時の患者搬送手段の確保、あーたの大事な命袋運動

③ 災害医療

平成28年熊本地震による被災者に対する保健医療支援、阿蘇圏域災害保健医療連絡会議の開催・連携訓練実施、各医療機関の災害時体制構築推進。

④ へき地の医療

無医地区等における医療提供体制の充実。

⑤ 歯科保健医療

子どものむし歯予防、歯周病対策の推進、医科歯科連携等の体制整備。

⑥ 母子保健

妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援体制の整備、早産予防対策、思春期保健対策の推進。

施策の柱③

いざというときに安心できる健康危機管理体制の充実

(1) 健康危機に対応した体制づくり
関係機関の連携強化、研修や訓練の実施。

(2) 感染症への対応

① 結核

早期発見・早期診断・治療の強化、服薬確認・連携強化、まん延防止、人材育成。

② レジオネラ症

温泉・入浴施設等に対する発生防止対策の推進。

(3) 食品の安全対策

健康被害の未然防止の推進、HACCP普及啓発。

政策医療に基づく指定・認定状況

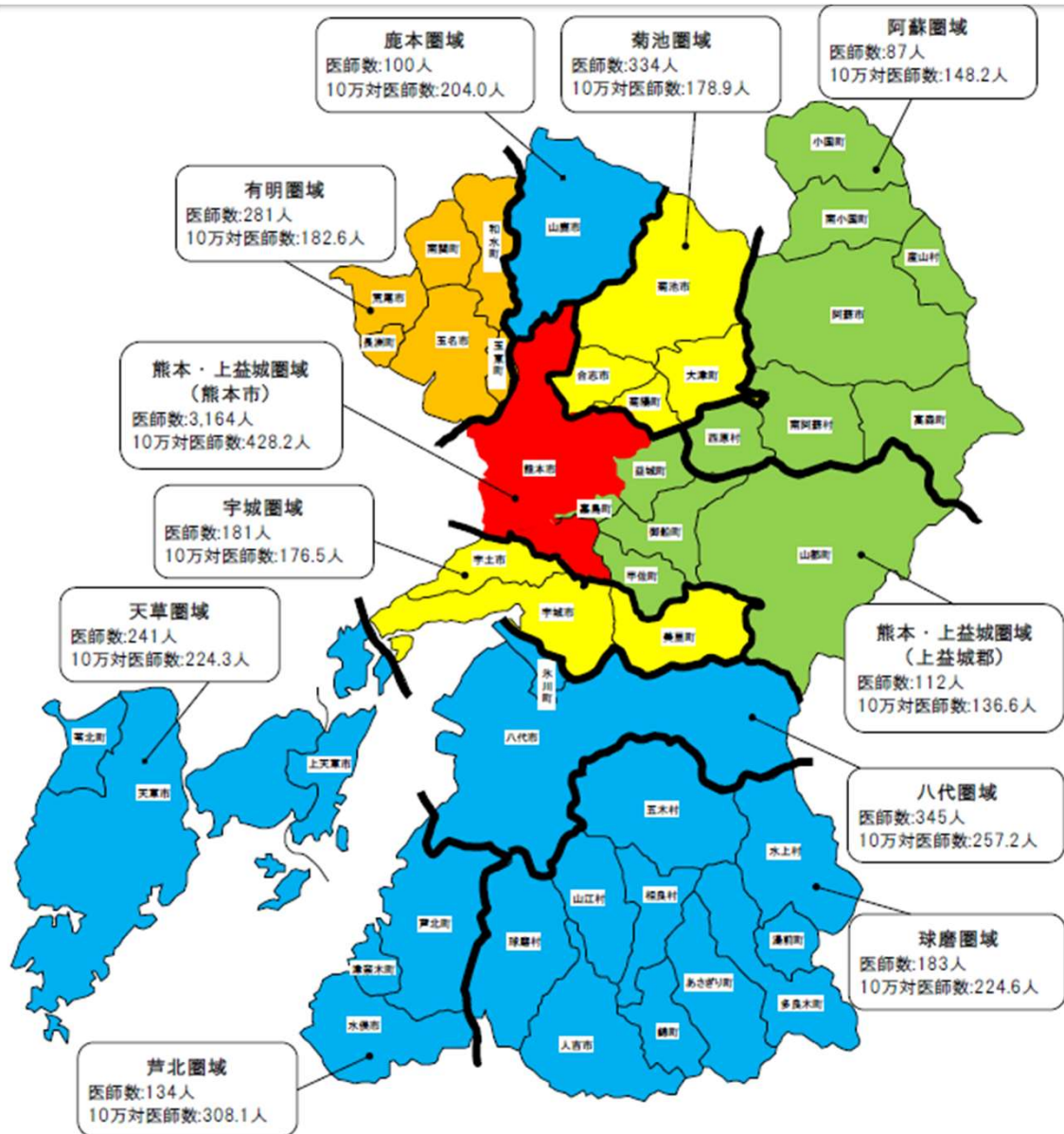
<5疾病>

脳卒中	脳卒中急性期拠点病院 脳卒中回復期医療機関	
急性心筋梗塞	急性心筋梗塞急性期拠点病院 急性心筋梗塞回復期医療機関	
がん	熊本県がん診療連携拠点病院	
糖尿病	糖尿病外来、栄養サポートチーム	
精神疾患	阿蘇やまなみ病院と連携	

<5事業+2(在宅・感染)>

救急医療	救急告示病院	
災害医療	災害拠点病院	
へき地医療	へき地医療拠点病院	
小児医療	小児慢性期特定指定医療機関	
周産期医療	阿蘇温泉病院と連携	
在宅医療	地域在宅医療サポートセンター	
感染対策医療	第2種感染症指定病院	平成11年4月指定

熊本県の地域医療の現状



熊本医療圏
(428.2人)



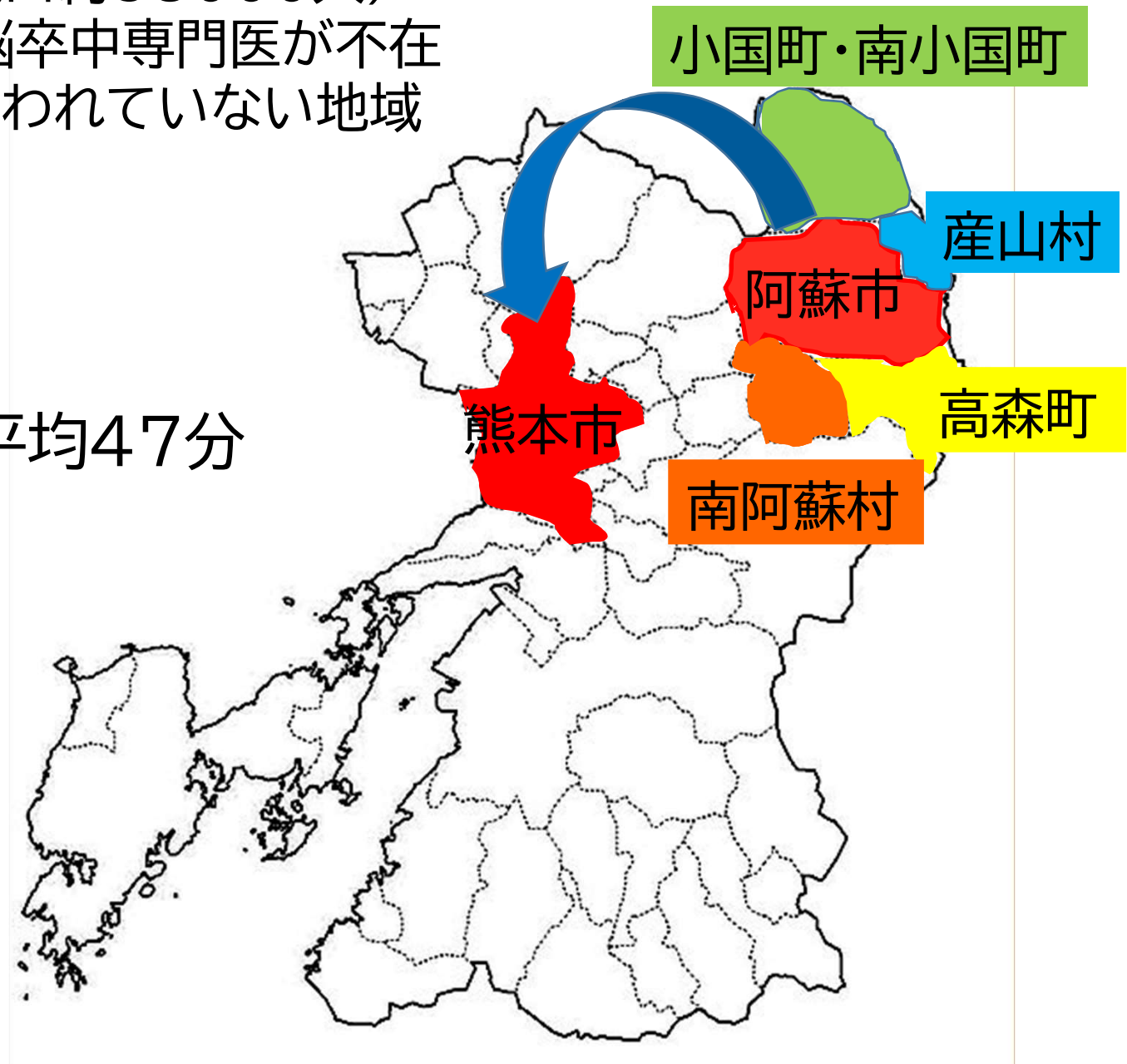
約3倍

阿蘇医療圏
(148.2人)

【厚生労働省「令和2年医師・歯科医師・薬剤師統計」に基づき熊本県医療政策課作成】

阿蘇医療圏（人口約58000人）
7市町村内に脳卒中専門医が不在
t-PA治療が行われていない地域

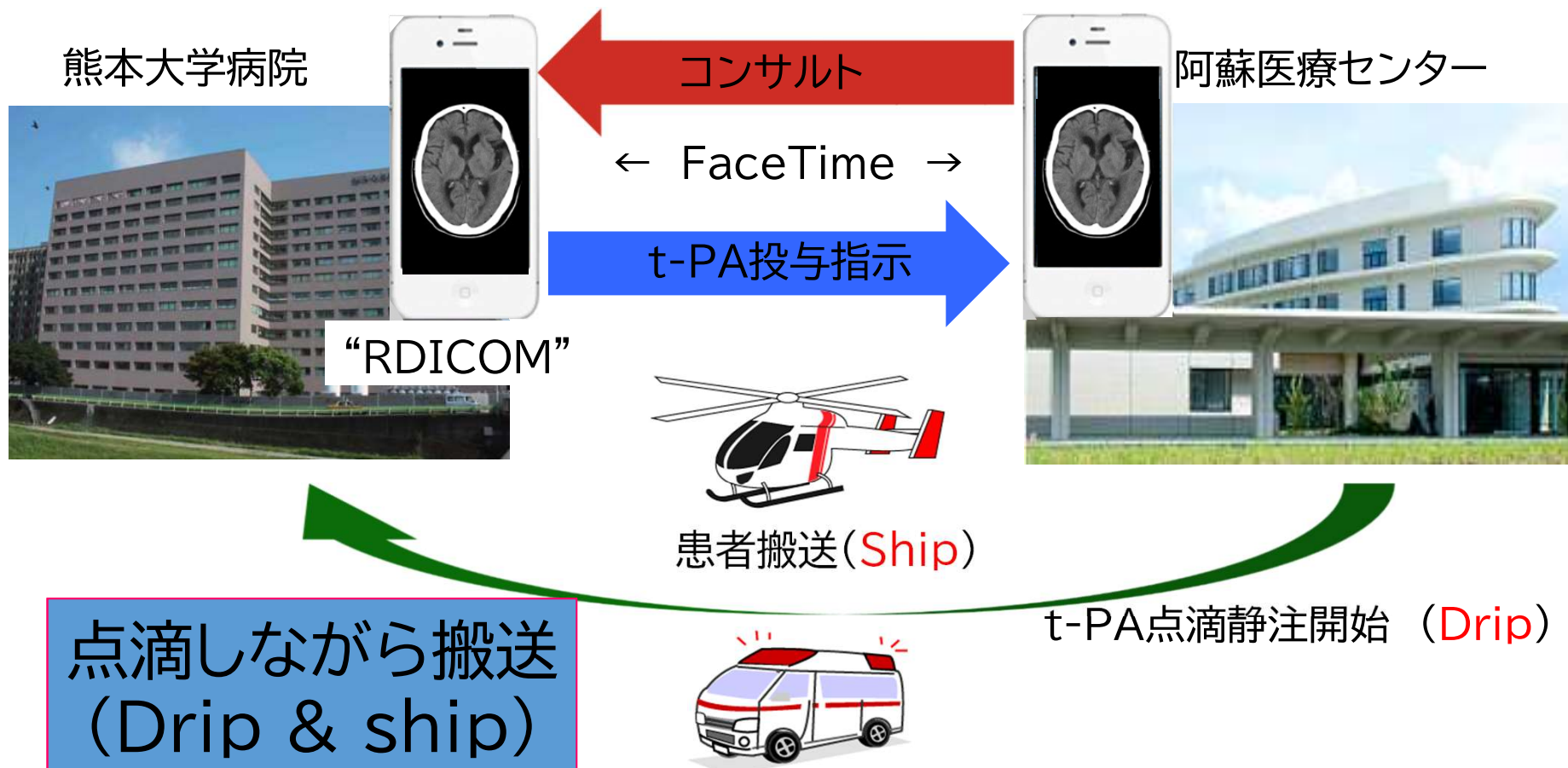
搬送時間：平均47分





Cooperative Attempt of teLestroke based
Drip & ship type Emergent Referral

Aso model



t-PAモード患者の状況（H24-6からH27-5）

日時	年齢	性	NIHSS	診断	t-PA 使用	経過
2012-6-10	89	M	11	脳梗塞	有	救急車で熊大へ
2012-6-12	84	F	15	脳出血	不可	阿蘇中央
2012-6-27	93	M	12	脳梗塞	有	ヘリで熊大へ
2012-7-8	83	M	4	脳出血	不可	阿蘇中央
2012-8-2	79	M	1	脳梗塞	なし	日赤熊本
2012-8-16	74	F	6	脳出血	なし	日赤熊本
2012-8-24	74	M	1	脳梗塞	なし	阿蘇中央
2012-9-1				脳出血	なし	阿蘇中央
2012-10-1				脳梗塞	なし	阿蘇中央
2012-11-1				脳梗塞	有	救急車で熊大へ
2012-12-1				脳出血	なし	阿蘇中央
2013-1-7	40	F	20	脳梗塞	有	ヘリで熊大へ
2013-1-14	89	F	22	脳梗塞	なし	阿蘇中央
2013-1-20	68	M	1	脳梗塞	なし	阿蘇中央
2013-5-9	80	F	9	脳梗塞	有	ヘリで熊大へ
2013-7-21	77	M	29	脳梗塞	有	救急車で熊大へ
2013-7-21	92	F	6	脳梗塞	なし	阿蘇中央
2013-8-5	71	M	9	脳梗塞	なし	阿蘇中央
2013-8-19	70	M	3	脳梗塞	なし	阿蘇中央

t-PA モード 84例
脳梗塞 68例
t-PA 実施 17例

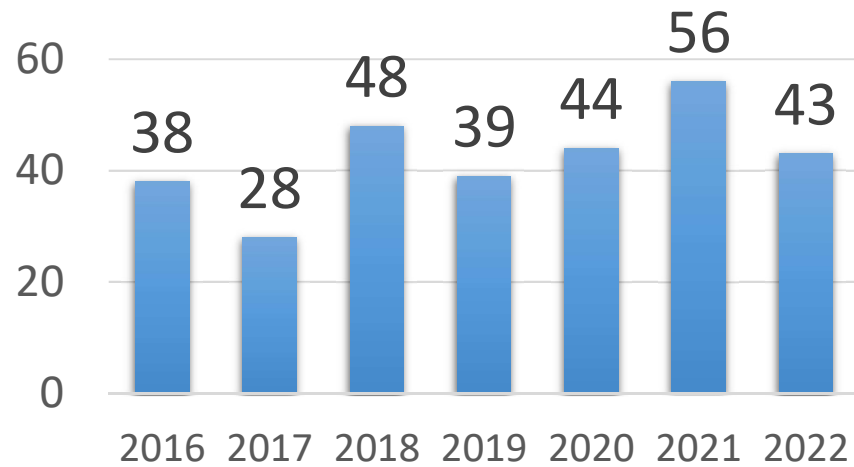


バイプレーン DSA

ハイブリッド手術室



ステント留置術

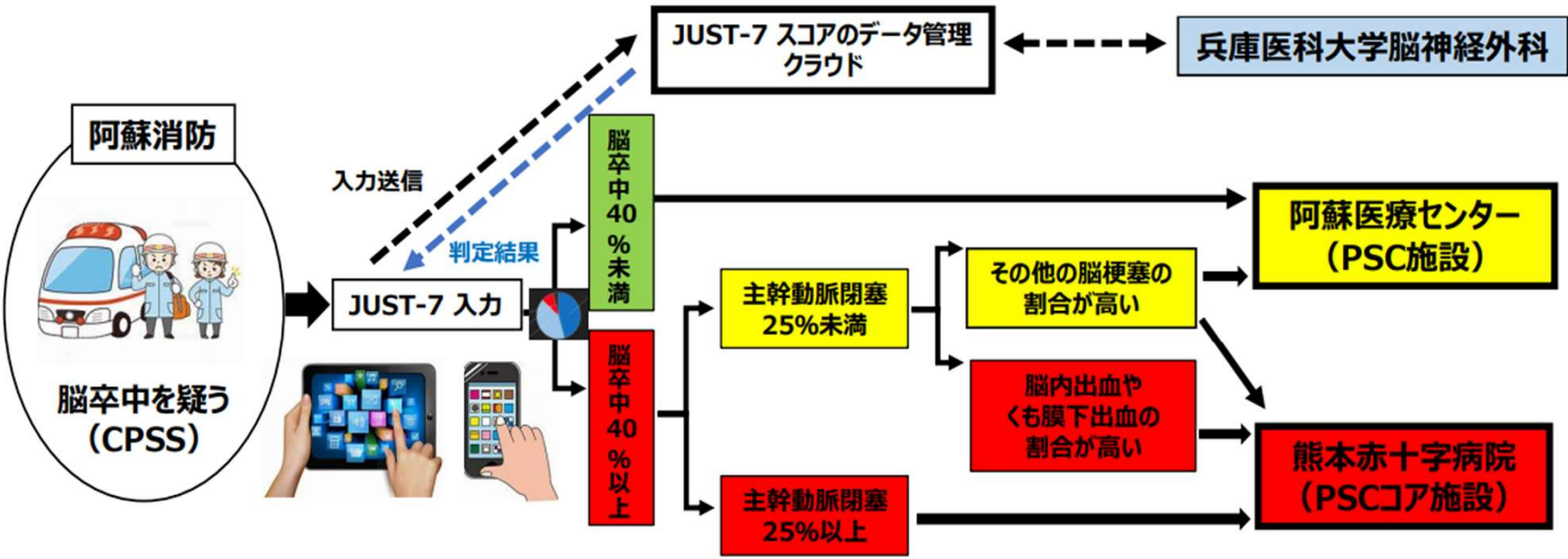




病院前脳卒中病型予測ツールJUST-7スコアを活用して適切な病院へ 迅速に搬送する取り組み—阿蘇熊本クロスモデル—

Efforts to quickly transport to the appropriate hospital using a JUST-7 score that predicts the type of stroke, Aso-Kumamoto Cross Model (EPOCH A-KROSS model)

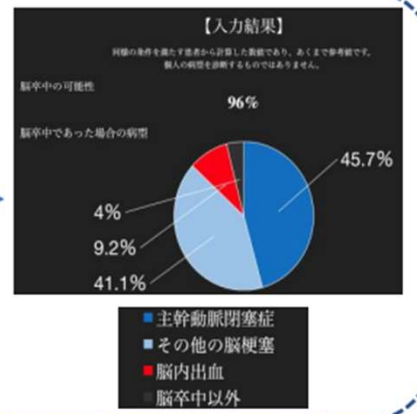
脳卒中を疑う救急患者の搬送までの概要



点線はデータの流れを示す

JUST-7 スコア入力項目	有無
血圧165mmHg以上	0
不整脈	1
共同偏視	1
頭痛	0
構音障害	1
意識障害	1
上肢の麻痺	1


病型が算出



- ・脳卒中40%以上の場合、真の重症脳卒中である可能性が高く、表示された4病型の割合が最も高い疾患に沿って搬送先を選定
- ・特に主幹動脈閉塞25%以上の場合はPSCコア施設を選定
- ・選定先に連絡し、データを救急隊と搬送先とで共有し協議を行い、最終的に搬送先を決定


PSC：一次脳卒中センター

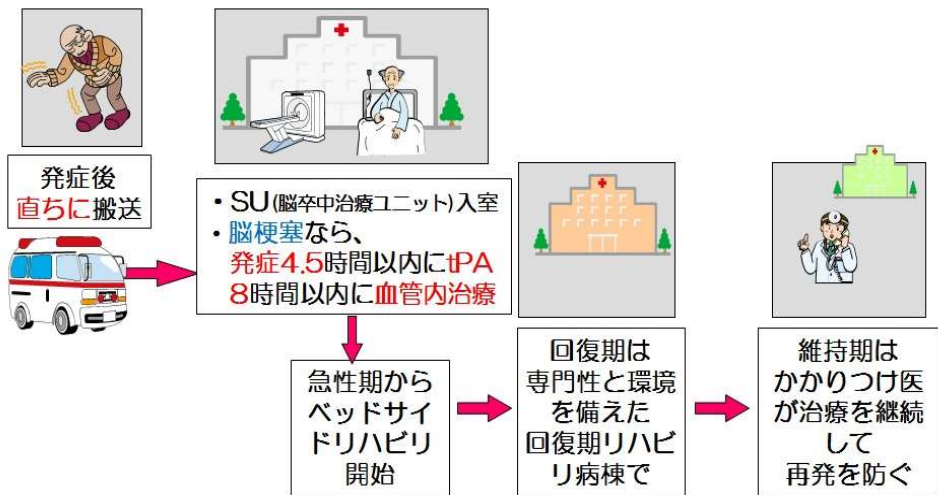
「健康寿命の延伸などを図るための脳卒中、心臓病 その他の循環器病に係る対策に関する基本法」が成立 (2018年12月10日)



脳卒中・循環器病 対策基本法 の成立を求める会

健康寿命の延伸等を図るための
脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法へのご賛同を！







一次脳卒中センター (t-PA治療)

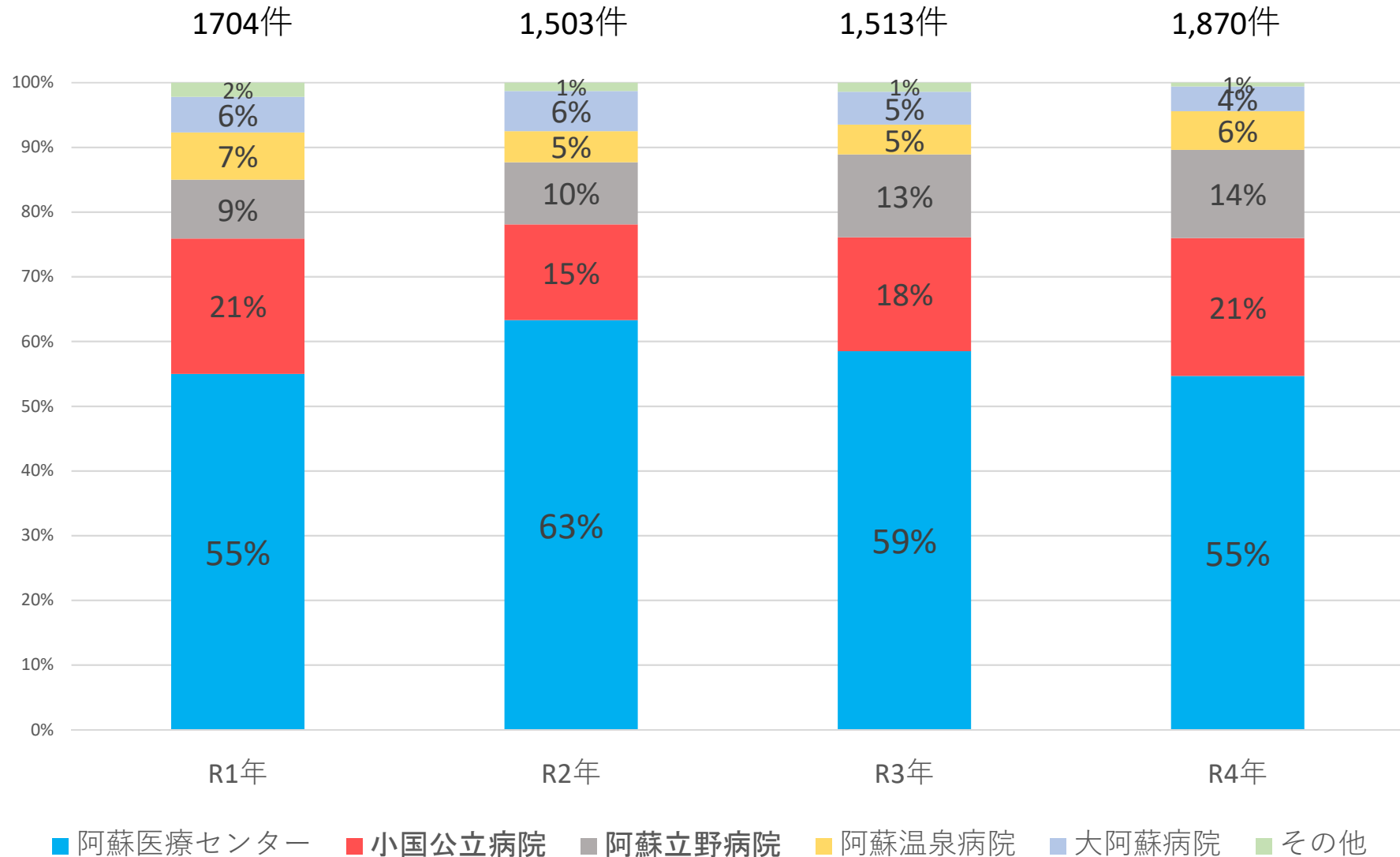
PCI施行施設 (ステント留置)



R4 熊本大学病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター開設

阿蘇地域の救急搬送受け入れ数（％）

阿蘇地域の救急搬送受入数（転院搬送収容含む）



（出典：阿蘇広域行政事務組合消防本部 救急統計）

地域災害拠点病院としての活動



熊本地震 2016-4-14・4-16

震発生以降の地震回数 ※13日は1回

◆4月15日は224回	震度7= 2回
16日は1223回	6= 5回
17日は365回	5= 17回
18日は224回	4= 116回
	3= 406回
	2= 1143回
	1= 2502回
	計 4191回

平成 28 年 4 月 16 日
午前 1 時 26 分
熊本地震 本震
震度 7

阿蘇医療センター 内部資料/熊本日日新聞

免震機構



阿蘇医療センター 内部資料

ライフライン

電源：自家発電作動
72時間 フルパワー
10日間 セーフティモード

水：貯水槽：3日分
上水 15t*2槽 (30t)
雑用水 35t*2槽 (70t)



2016-4-17 18時 通常電源回復

衛星通信アンテナの設置支援
(スカパーJ/SAT 衛星 宇宙・衛星事業本部)



阿蘇医療センター 内部資料



阿蘇医療センター 内部資料

地域災害拠点病院としての活動



ADRO会議 (毎日 朝7:30 夕18:30)



阿蘇保健所長 服部医師



阿蘇医療センター 内部資料

ADRO (阿蘇地区災害保健医療復興連絡会議)



阿蘇医療センター 内部資料

感染対策チーム

長崎大学 泉川教授

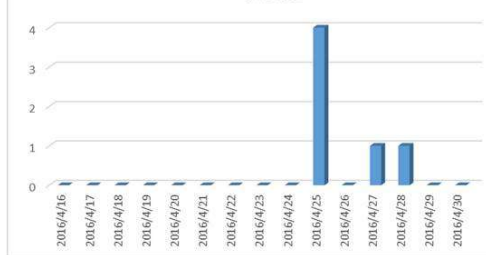
熊本大学 川口准教授 柿本ICN



熊本赤十字病院 上木原診療部長



ノロ感染症



阿蘇医療センター 内部資料

DVT対策チーム

福井大学 山村講師 石垣かりゆし病院 田中医師



下肢静脈エコー
心エコー
採血 (D-dimer, NTproBNP, トロポニンT)

2016-5-3/5-4

	阿蘇市 (2016-5-3)	南阿蘇村 (2016-5-4)
被験者数	157	43
DVT陽性	19	8
新鮮血栓	11	6
陳旧性血栓	18	5
DVT検出率	12.1%	18.6%
弾性ストッキング配布数	57	17

避難所	被験者数	DVT陽性率
避難所A	16	18.8%
避難所B	13	38.5%
避難所C	38	2.6%
避難所D*	33	3.0%
避難所E	24	12.5%
避難所F	33	15.2%
避難所G	37	18.9%
避難所H	4	25.0%
避難所I*	2	0%

*温泉施設

阿蘇医療センター 内部資料

地域災害拠点病院としての活動



長期的な対応

- ✓ 難病外来
(神経難病など指定難病306疾患)
- ✓ 糖尿病外来(重症化)
- ✓ 外来化学療法
- ✓ 小児PTSD外来
- ✓ 肝炎外来(新規抗ウイルス治療)
- ✓ 専門医不在
(皮膚科・耳鼻咽喉科・口腔外科)



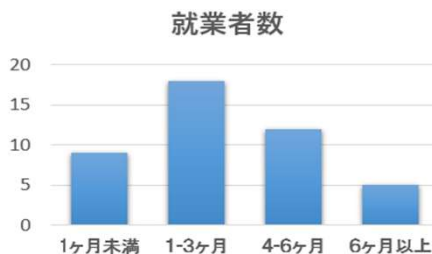
2016-9から
神経難病(1回/月)
糖尿病(2回/月)
小児特殊(1回/月)
2017-4から
小児腎臓(1回/月)
歯科口腔外科相談(毎週木曜)
2017-6から
血液・免疫内科(1回/月)
2018-4から
がんサロ「笑顔」(1回/月)
2018-8
腫瘍内科外来(1回/月)
2018-9
糖尿病教育入院
2018-11
肝疾患専門外来(1回/月)
2019-2
歯科口腔外科開設
2019-4
耳鼻咽喉科外来
2019-7
腎臓内科外来
2020-6
呼吸器内科外来
2021-4
産婦人科外来
2022-4
皮膚科外来

阿蘇医療圏における 冬季の救急搬送



くまもと復興応援ナース(H31年1月18日現在)

- 登録者数 74名(熊本県内16名、熊本県外58名)
- 就業者数 44名(うち就業中8名)
定着4名(阿蘇医療センター、阿蘇温泉病院、
公立小国病院、大阿蘇病院)
- 就業期間:1~2カ月>3~4カ月>1カ月未満
- 就業者年齢:41歳~50歳>31歳~40歳>51歳~60歳



阿蘇医療センター
就業者数 7名
1か月:4名
5か月:1名
4か月:1名
定着:1名

2019-11-15 「くまもと復興応援ナース制度」

全国知事会先進政策バンク 優秀政策奨励賞

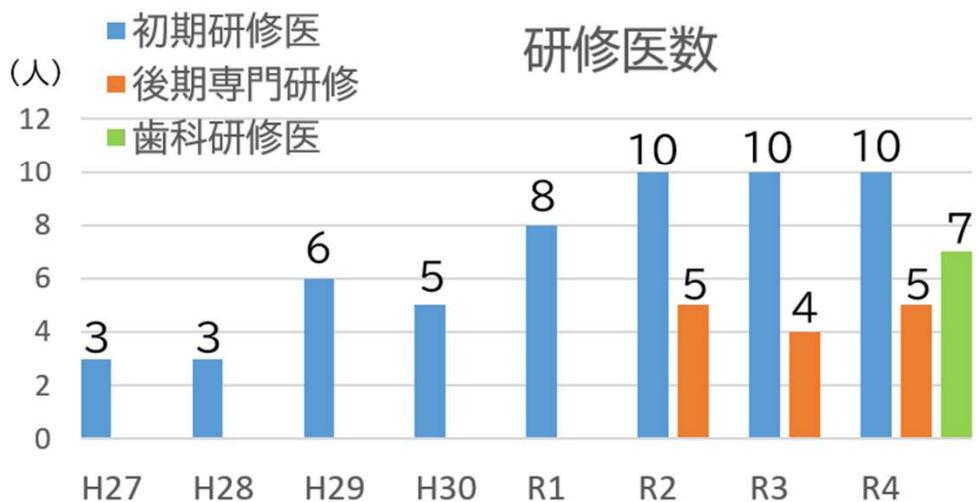


2019-11-26 多数傷病者受け入れ訓練(阿蘇医療センター)





研修医受け入れ状況

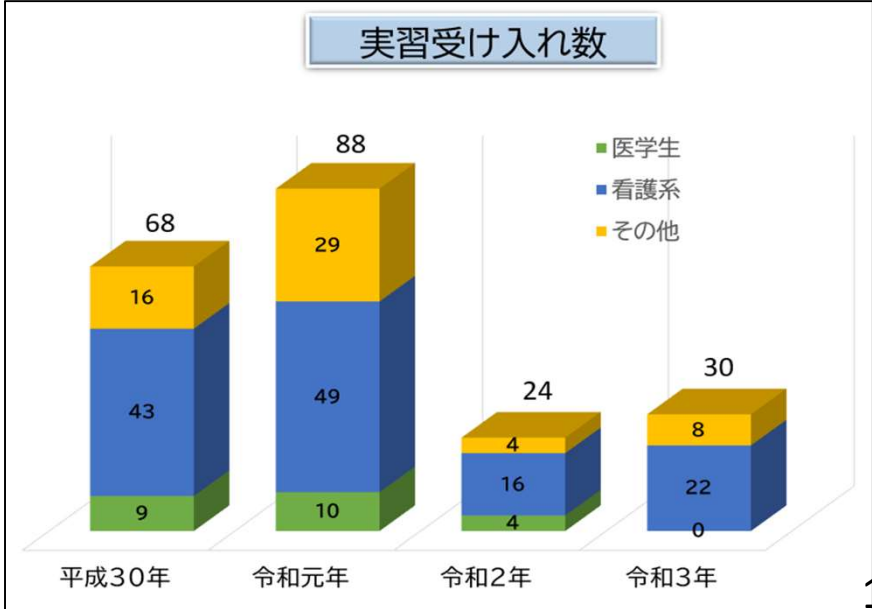


令和4年度臨床研修医(修了者含む)

(写真上段左から)湯本信也副院長、橋山元浩医局長、坂本圭医師、宮本翔太研修医
(写真下段左から)堀愛莉花医師、宮津明友子研修医、井形元維医師、甲斐豊院長

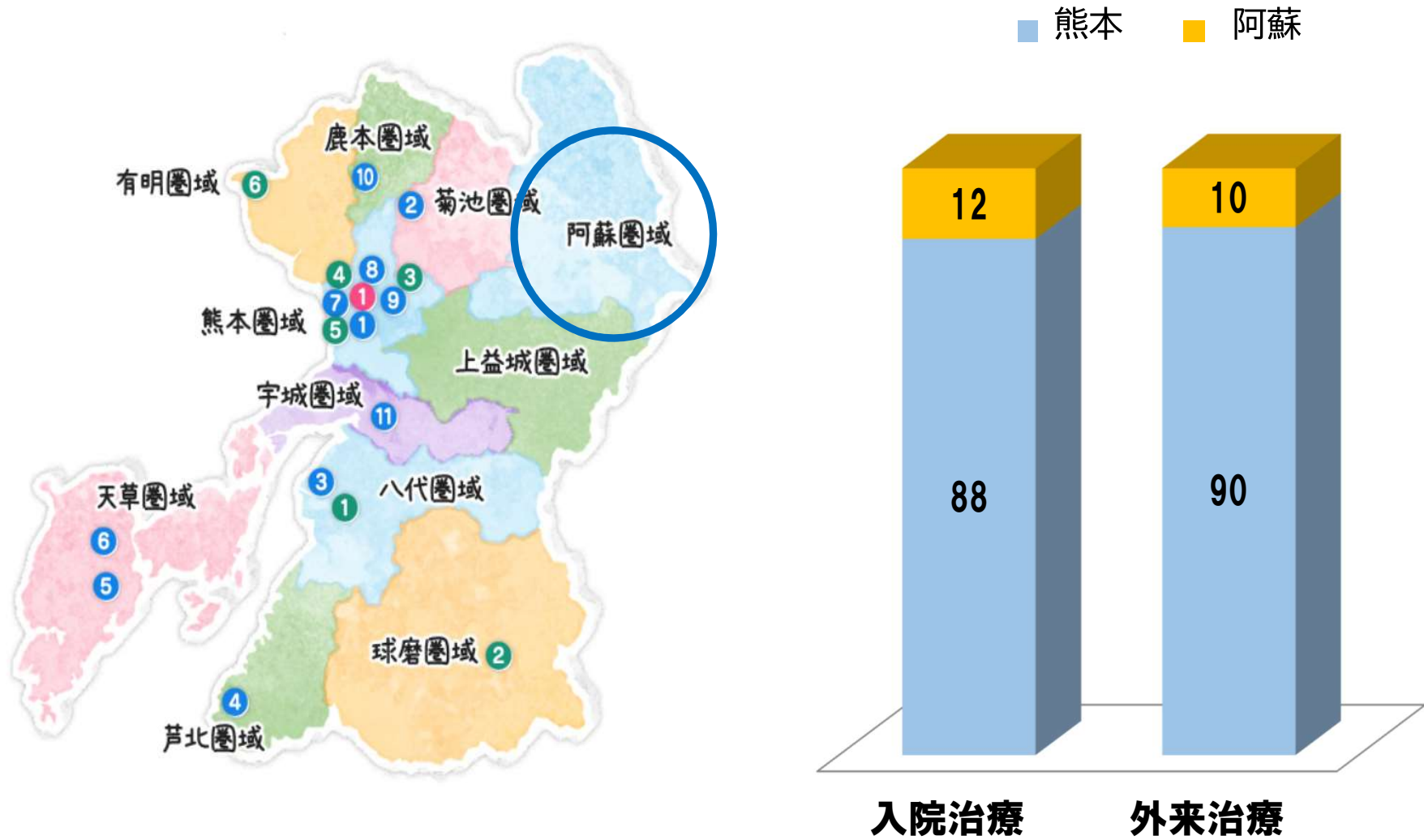
		氏名	基幹病院(派遣機関)	研修期間
令和4年度臨床研修(地域医療)研修医	初期研修医	藤本 雄太	熊本医療センター	令和 4. 4.11 ~ 令和 4. 5. 8
		木村 遼	荒尾市民病院	令和 4. 6. 1 ~ 令和 4. 6.30
		内海 祥子	熊本中央病院	令和 4. 6.20 ~ 令和 4. 7.15
		村田 翔紀	荒尾市民病院	令和 4. 8. 1 ~ 令和 4. 8.31
		千田 麻由子	熊本大学病院	令和 4. 9. 1 ~ 令和 4. 9.30
		錦戸 佳南子	熊本医療センター	令和 4. 9.26 ~ 令和 4.10.23
		赤木 健哉	熊本赤十字病院	令和 4.10.10 ~ 令和 5. 1. 1
		浦川 朋也	熊本大学病院	令和 4.11. 1 ~ 令和 4.11.30
		若山 裕梨	熊本中央病院	令和 4.11.28 ~ 令和 4.12.23
		高森 悠希	荒尾市民病院	令和 5. 1. 1 ~ 令和 5. 1.31
		後期研修医	石井 健裕	熊本赤十字病院(内科)
林 碧	熊本赤十字病院(救急科)		令和 4. 4. 1 ~ 令和 4. 6.30	
喜納 大貴	熊本赤十字病院(救急科)		令和 4. 7. 1 ~ 令和 4. 9.30	
野間口 一輝	熊本赤十字病院(救急科)		令和 4.10. 1 ~ 令和 4.12.31	
吉澤 菜々	熊本赤十字病院(救急科)		令和 5. 1. 1 ~ 令和 5. 3.31	
研修歯科医	原田 紘、鎗流馬 健太		熊本大学病院	令和 4. 6.20
	大林 赳士、大弓 和政、玉寄 匠	熊本大学病院	令和 4. 7. 4	
	仲山 優香、山田 麻由	熊本大学病院	令和 4. 9.12	

教育医療病院としての役割





阿蘇地域のがん診療の実情

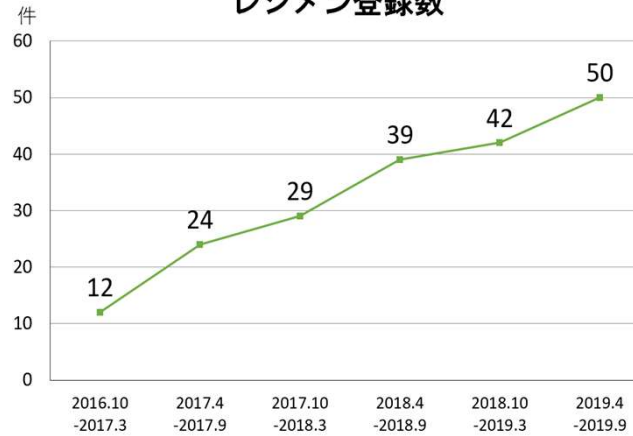


がん診療拠点病院を目指して



- ・2015-1 外来化学療法
- ・2016-10 安全キャビネット
- ・2017-4 血液内科開設
- ・2017-11 緩和ケア講演会
- ・2018-4 がんサロン「笑がお」
- ・2018-6 栄養サポートチーム
- ・2018-8 腫瘍内科開設
- ・2019-1 キャンサーボード
- ・2019-2 歯科口腔外科開設
- ・2019-4 耳鼻咽喉科外来開設
- ・2019-5 緩和ケアチーム
がん相談支援センター

レジメン登録数



2019-11-17 市民公開講座（緩和ケア）

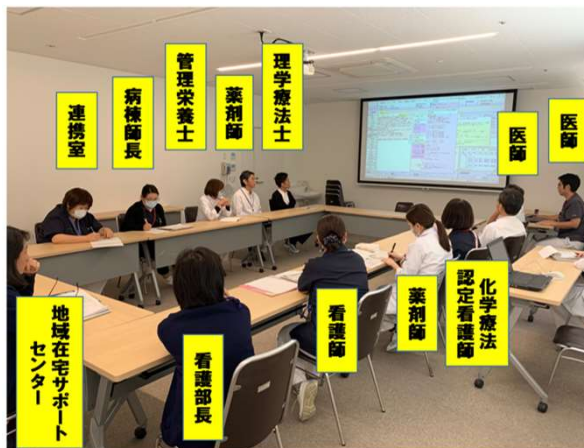


阿蘇がんサロン「笑がお」

第2木曜日 13:30 - 15:30



2019-11-21 キャンサーボード



2019-2-23 歯科口腔外科 開設





がん診療拠点病院



都道府県 がん診療拠点病院

- 1 熊本大学医学部附属病院

国指定 地域がん診療連携拠点病院

- 1 熊本労災病院
- 2 人吉医療センター
- 3 熊本赤十字病院
- 4 熊本医療センター
- 5 済生会熊本病院
- 6 荒尾市民病院

熊本県指定 がん診療連携拠点病院

- 1 熊本中央病院
- 2 熊本再春荘病院
- 3 熊本総合病院
- 4 水俣市立総合医療センター
- 5 天草地域医療センター
- 6 天草中央総合病院
- 7 熊本地域医療センター
- 8 くまもと森都総合病院
- 9 大腸肛門病センター 高野病院
- 10 山鹿市民医療センター
- 11 熊本南病院

2020-4
熊本県がん診療
連携拠点病院
認可

女性専門外来



乳腺内分泌外科

岩瀬 弘敬



熊本大学 名誉教授
熊本市民病院 特別顧問

日本外科学会理事・代議員・指導医・専門医
日本乳癌学会理事・専門医・指導医
日本内分泌学会代議員
日本内分泌外科学会評議員
日本内分泌・甲状腺外科専門医
日本癌治療学会欧文誌編集委員
日本臨床腫瘍学会評議員・暫定指導医

【診療日】

月曜日(月2回指定日)
診察時間 9:00~15:00

月2回月曜日

【診療内容について】

乳癌を始めとした乳腺疾患の診断、薬物療法を中心として、内分泌臓器である甲状腺、副甲状腺の外科的治療を担当しています。
<熊本大学病院・熊本市民病院との連携について>
乳癌では根治性を損なわないように手術療法を縮小化する方向にあり、整容性にすぐれた乳房温存手術とセンチネル(見張り)リンパ生検による腋窩リンパ節郭清の省略が可能です。
薬物療法については、ガイドラインに準拠した化学療法、ホルモン療法、分子標的治療、免疫療法(免疫チェックポイント阻害薬)を行っています。
さらに乳癌患者を精神的に支援するサポートグループも運営されており、定期的に会合が持たれています。
甲状腺、副甲状腺疾患の外科治療については出来るだけ創を小さくし、形成外科的な処置を行うことで美容的にも優れた方法で行っています。
 乳腺疾患の診断・治療
乳房のしこり、血性乳頭分泌、乳癌検診異常(特に微細石灰化病巣)の精査、ホルモン療法、分子標的治療
 甲状腺癌、良性甲状腺腫瘍、バセドウ病の管理、副甲状腺腫瘍

婦人科

片瀨 秀隆



熊本大学 名誉教授
くまもと森都総合病院 特別顧問
公益社団法人 日本婦人科腫瘍学会 理事長
一般社団法人 日本癌治療学会 副理事長
一般社団法人 日本婦人科がん検診学会 副理事長
日本女性疾患画像・病理診断学会(JSAWI) 代表世話人
日本産科婦人科学会専門医・指導医
日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医・指導医
日本がん治療 認定医機構がん治療認定医

【診療日】

第2・4金曜日
診察時間 9:00~12:00

第2・4金曜日

【診療内容について】

ご家族や友人にはなかなか相談できない産婦人科の症状や病気をお持ちの方、現在受けておいでの治療についてお悩みの方はご相談下さい。納得されるまで時間をかけてお話を伺い、必要な時は通院中の医療機関と連携して治療を進めます。また、遠方の病院等での治療後の経過観察もお引き受けいたします。
 婦人科がん検診(住民検診・職場検診など)
子宮頸がん検診、子宮体がん検診(オプション)、婦人科診察
 婦人科がん検診後の2次検診(精密検査)
 妊娠の診断
 月経(生理)の異常:無月経、生理痛、生理不順、過多月経、過長月経
 子宮筋腫、子宮腺筋症、子宮内膜症(チョコレート嚢胞)
 不妊症、不育症
 更年期(40代~50代)の生理不順、更年期症状
 閉経後の症状:おりもの、出血、下腹部痛、子宮脱(子宮が降りてくる感じ)
 婦人科がん(子宮頸がん、体がん、卵巣がんなど)の診断や治療での悩み
 治療(手術、化学療法・分子標的治療、免疫療法、放射線治療)への疑問
 その他 婦人科のことについて何でもご相談ください。

地域在宅医療サポートセンター

地域在宅医療サポートセンター

各圏域内の地域特性に応じ、日常の療養支援や急変時対応等の在宅医療を推進

(ア) 在宅医療の取組みの充実

- ☆急変時対応(必須)
- ☆入退院支援(必須)
- ☆日常の療養支援(選択)
- ☆看取り(選択)



(イ) 地域における在宅医療の普及促進

- ☆訪問診療等の実施機関増に向けた取組み(必須)
- ☆普及啓発(選択)
- ☆地域在宅医療サポートセンター連絡会の開催(必須)

(ウ) 在宅医療の充実に資する地域独自の取組み(選択)

2019-1-9 指定書交付式



地域在宅医療サポートセンターの指定先】



※準備が整った地域から順次指定。

圏域名	指定先機関名
熊本・上益城	①熊本市医師会 ②上益城郡医師会
宇城	③宇城総合病院
有明	④玉名郡市医師会 ⑤荒尾市医師会
鹿本	(調整中)
菊池	⑥菊池郡市医師会立病院
阿蘇	⑦小国郷医療福祉あんしんネットワーク ⑧阿蘇郡市医師会
八代	⑨八代市医師会 ⑩八代北部地域医療センター
水俣・芦北	(調整中)
球磨	⑪公立多良木病院
天草	⑫天草地域医療センター ⑬上天草総合病院

2019-3-23 キックオフミーティング



2015-8-11 MERS対策(阿蘇保健所)



2019-2-27 熊本空港検疫



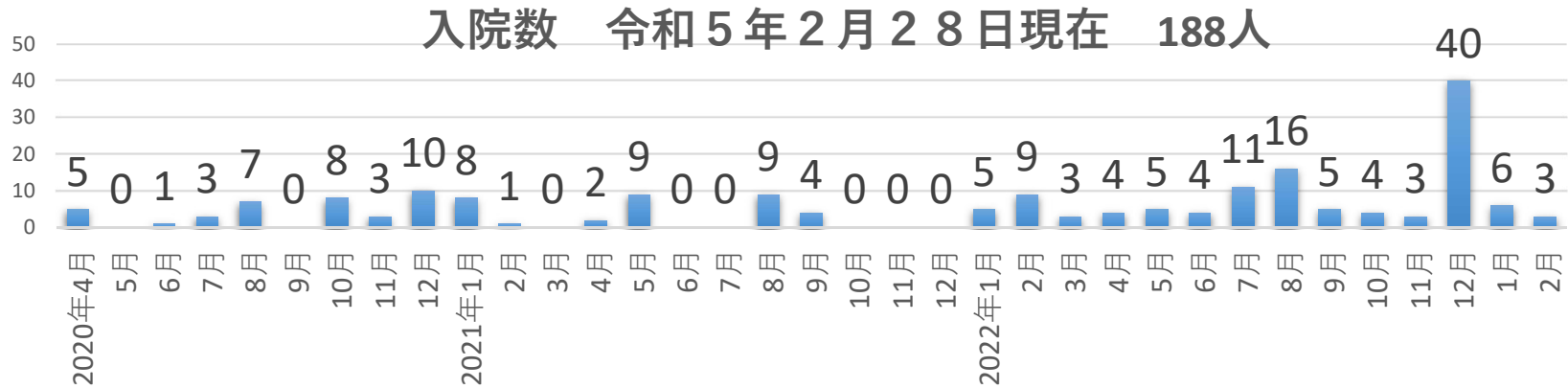
2018-7-11(院内研修)



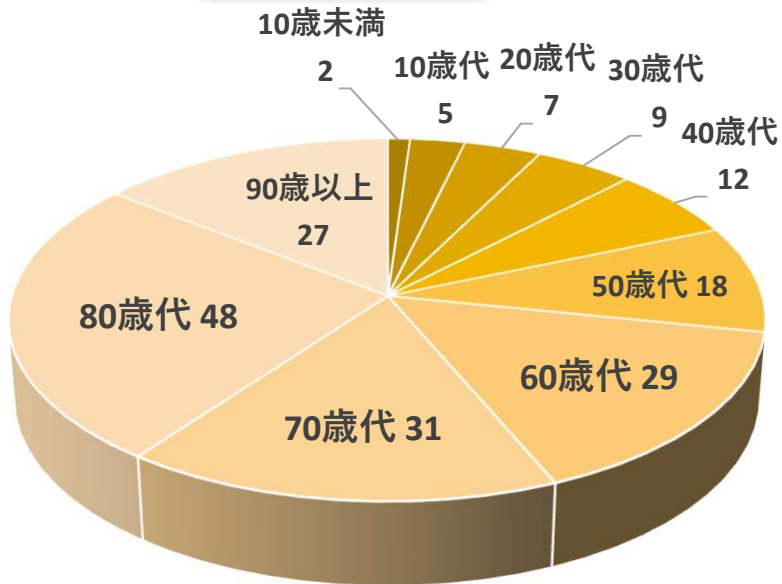
2019-12-16 (阿蘇広域消防)



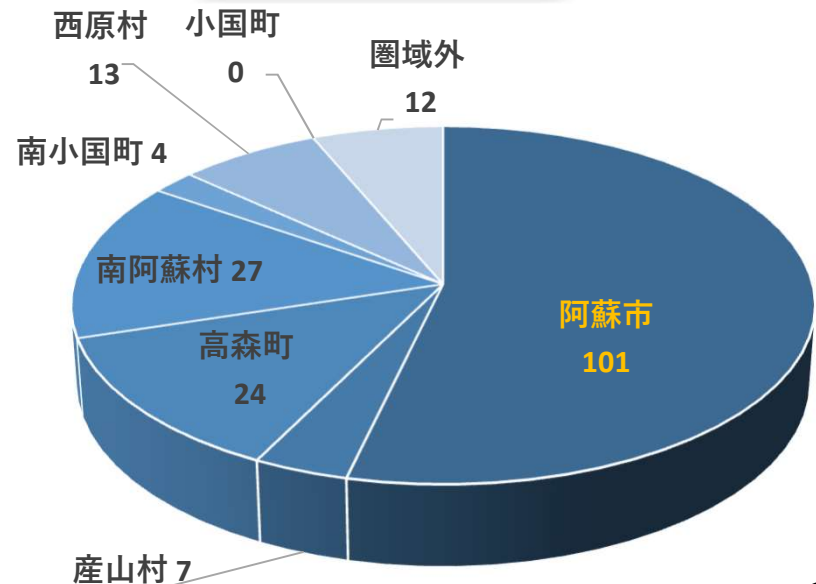
阿蘇医療センター 新型コロナ陽性患者受け入れ数



年代別

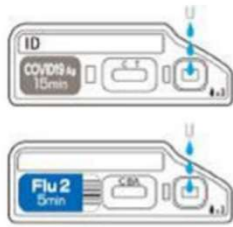


市町村別



発熱外来

検査体制 → インフルエンザ流行期



(左) ハウス室内 ※イメージ図、(右) 抗ウイルスHEPAフィルター内蔵換気装置

(左) エアコン (3馬力)、(右) 抗ウイルスHEPAフィルター内蔵エアシャワー (5.0坪タイプのみオプション)

発熱外来

2020-4-20～2023-1-31
7,620人

新型コロナワクチン接種会場

①受付



②問診チェック



③診察



④接種



⑤経過観察



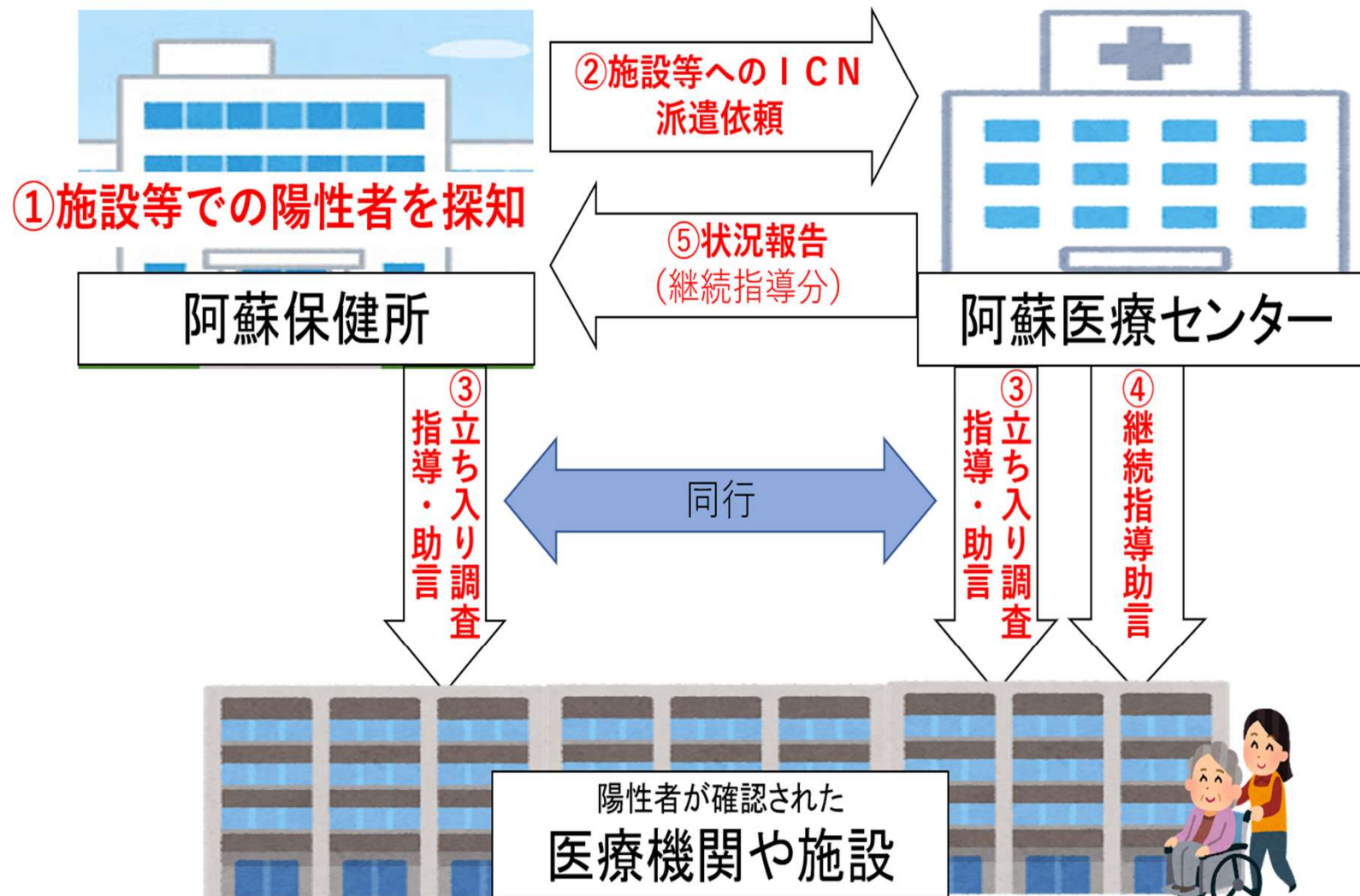
⑥副反応対応



ワクチン接種

2021-3-10～2023-1-31
7,909人
(17.8人/日)

新型コロナウイルス感染症による施設等のクラスター防止に係る ICNとの連携フロー



常勤医師の紹介

(2023-1 現在)



病院事業管理者兼院長

甲斐 豊
(かい ゆたか)

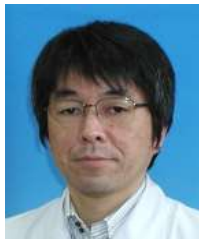
脳神経外科



副院長兼内科部長

湯本 信也
(ゆもと しんや)

内科



医局長兼小児科部長

橋山 元浩
(はしやま もとひろ)

小児科



地域医療連携部長兼
循環器内科部長

宮本 信三
(みやもと しんぞう)

循環器内科



整形外科医師

坂本 圭
(さかもと けい)

整形外科



循環器内科医師

石田 俊史
(いしだ としふみ)

循環器内科



消化器外科医師

坂本 悠樹
(さかもと ゆうき)

消化器外科



歯科口腔外科医師

高宗 康隆
(たかむね やすたか)

歯科医師



内科医師

平賀 円
(ひらが まどか)

総合内科



内科医師

春木 紗良
(はるき さら)

内科



小児科医師

古川 ちひろ
(ふるかわ ちひろ)

小児科

地域医療連携ネットワーク・地域枠・自治医大・日赤後期研修 医師派遣（R4.4から）

消化器内科	月：具嶋 亮介 水：吉成 元宏 金：檜原 哲史	午前：内視鏡 午後：消化器内科外来 (金曜日は肝疾患外来)
糖尿病・代謝・内分泌内科	木：八木 喜崇 金：井形 元維	木：外来 金：外来 第2/4水曜当直 第1/3/5金曜日当直
循環器内科	木：中嶋 直也	木：外来 第1/3週木曜当直 第2土の夜・日の昼当直
腎臓内科	金：奏 雄介	2021-4から毎週金曜日 2021-4から第1/2/3/4土曜日
消化器外科	坂本 悠樹	2021-4から常勤医
整形外科	坂本 圭	2020-4から常勤医
神経内科	水：松原宗一郎	水：外来 第2/4火曜日当直
耳鼻咽喉科	毎週木曜日	木：外来
呼吸器内科	火：坂田 晋也 金：城臺 孝之	火・金：外来
皮膚科	栗山 春香	水：外来
小児科（地域枠）	古川ちひろ	2021-4から1名
自治医大	春木紗良	2021-4から1名
総合診療内科（地域枠）	平賀 円	2022-4から1名
熊本赤十字病院後期専門医	3か月交代	2021-4から1名

政策医療に基づく指定・認定状況

<5疾病>

脳卒中	脳卒中急性期拠点病院 脳卒中回復期医療機関	平成30年4月
急性心筋梗塞	急性心筋梗塞急性期拠点病院 急性心筋梗塞回復期医療機関	平成30年4月
がん	熊本県がん診療連携拠点病院	令和2年4月指定
糖尿病	糖尿病外来、栄養サポートチーム	
精神疾患	阿蘇やまなみ病院と連携	

<5事業+2(在宅・感染)>

救急医療	救急告示病院	平成26年8月指定
災害医療	災害拠点病院	平成26年8月指定
へき地医療	へき地医療拠点病院	平成30年3月指定
小児医療	小児慢性期特定指定医療機関	平成27年1月指定
周産期医療	阿蘇温泉病院と連携	
在宅医療	地域在宅医療サポートセンター	令和2年4月指定
感染対策医療	第2種感染症指定病院	平成11年4月指定

医師の時間外労働規制について

一般則

【時間外労働の上限】

(例外)
 ・年720時間
 ・複数月平均80時間
 (休日労働含む)
 ・月100時間未満
 (休日労働含む)
 年間6か月まで

(原則)
 1か月45時間
 1年360時間

2024年4月～

年1,860時間／月100時間未満
 (例外あり) ※いずれも休日労働含む

⇒ 将来に向けて縮減方向

年960時間／月100時間
 未満 (例外あり)
 ※いずれも休日労働含む

A : 診療従事勤務
 医に2024年度以降
 適用される水準

連携B
 例水準
 (医療機関を指定)

B
 地域医療確保暫定特

C-1
 集中的技能向上水準
 (医療機関を指定)

C-2

C-1 : 臨床研修医・専攻医が、研修プログラムに沿って基礎的な技能や能力を修得する際に適用
 ※本人がプログラムを選択
 C-2 : 医籍登録後の臨床従事6年目以降の者が、高度技能の育成が公益上必要な分野について、指定された医療機関で診療に従事する際に適用
 ※本人の発意により計画を作成し、医療機関が審査組織に承認申請

将来

(暫定特例水準の解消 (= 2035年度末を目標) 後)

将来に向けて縮減方向

年960時間／
 月100時間 (例外あり)
 ※いずれも休日労働含む

A

C-1 C-2

※この(原則)については医師も同様。

※連携Bの場合は、個々の医療機関における時間外・休日労働の上限は年960時間以下。

月の上限を超える場合の面接指導と就業上の措置

【追加的健康確保措置】

連続勤務時間制限28時間・勤務間インターバル9時間の確保・代償休息のセット (努力義務)

※実際に定める36協定の上限時間数が一般則を超えない場合を除く。

連続勤務時間制限28時間・勤務間インターバル9時間の確保・代償休息のセット (義務)

連続勤務時間制限28時間・勤務間インターバル9時間の確保・代償休息のセット (義務)

※臨床研修医については連続勤務時間制限を強化して徹底

連続勤務時間制限28時間・勤務間インターバル9時間の確保・代償休息のセット (努力義務)

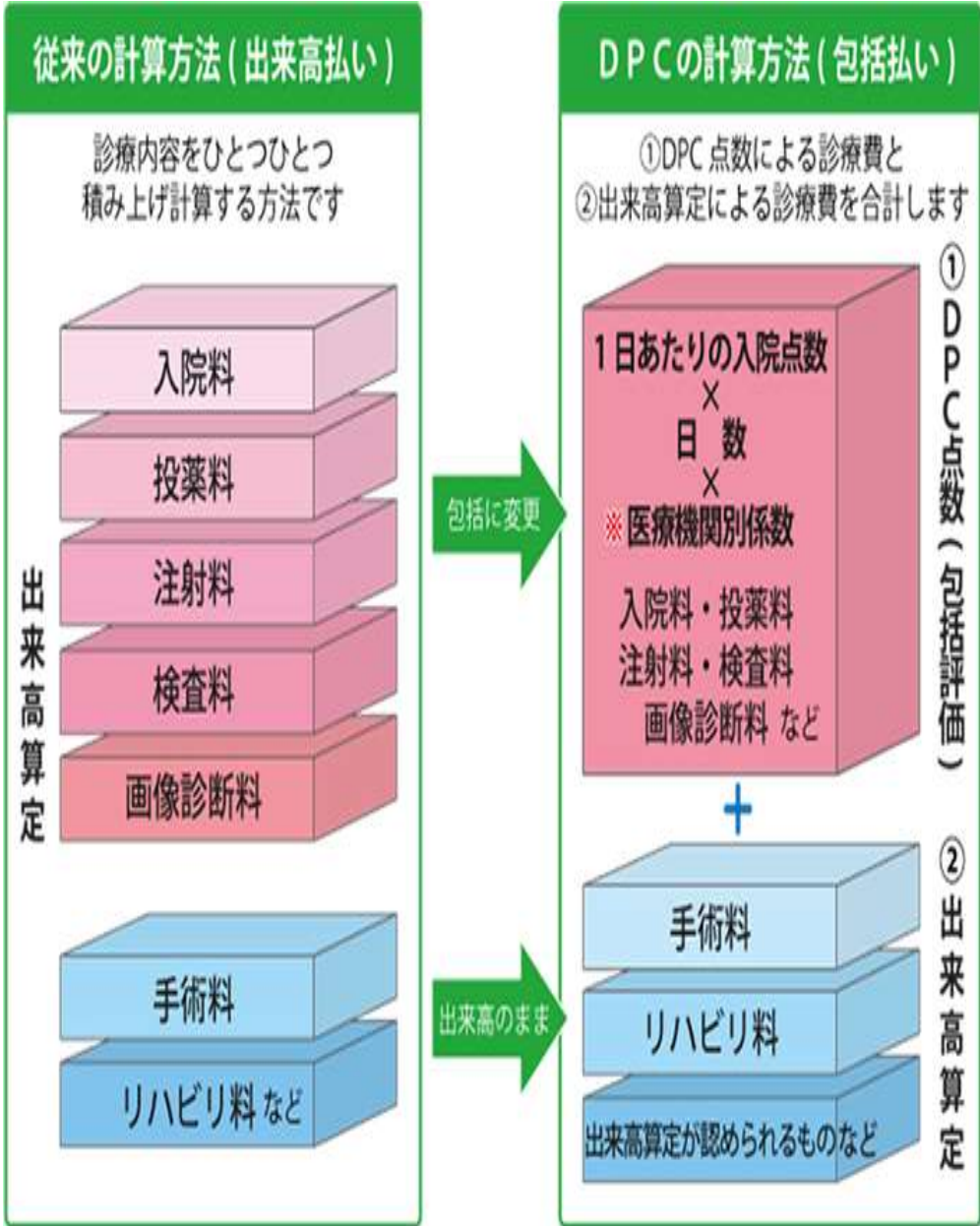
※実際に定める36協定の上限時間数が一般則を超えない場合を除く。

連続勤務時間制限28時間・勤務間インターバル9時間の確保・代償休息のセット (義務)

病院機能評価 (2022-9)



DPC導入 (2024-4)



院内保育所 (2022-4から)



すずらん
保育所



特徴的取組事例 (1)

1.	感染症対策 第二種感染症指定医療機関としての新型コロナウイルス感染症対応の活動	★★
2.	拠点病院としての活動	
	(1)熊本県がん診療連携拠点病院としての活動	★★
	(2)熊本県へき地医療拠点病院としての活動	★★
	(3)熊本県指定阿蘇中部地区在宅医療サポートセンター(基幹型)としての活動	
3.	教育・研修 医療人等の教育研修活動	
4.	地域連携・啓発活動 地域住民向け啓発、保健福祉関係・高齢者施設職員向け啓発に係る活動	
5.	臨床倫理 臨床倫理に関する体制整備	★★
6.	経営管理 経営管理に関する活動	
7.	病院危機管理 災害時の医療活動への対応	★★★

特徴的取組事例 (2)

8.	安全で良質な医療提供
	(1)脳卒中医療推進体制「JUST-7」の整備（熊本赤十字病院との連携）★★★
	(2)認知症ケアチームの活動 ★★
	(3)骨折リエゾンチーム(FLS)の整備 （歯科口腔外科と連携した多職種チームの活動）★★
	(4)小児科救急マニュアルの策定（熊本赤十字病院との連携）★★
	(5)心不全チームの整備（多職種による心不全重症化予防の活動）★★
	(6)ペースメーカー管理業務（遠隔モニタリング）の取り組み ★★
	(7)肝疾患外来の開設：脂肪肝プロジェクト取り組み（平成30年11月開設）★★
	(8)女性外来の開設（婦人科・乳腺外科）（令和3年4月）★★
	(9)糖尿病教育入院の実施（平成30年9月）
	(10)栄養サポートチームの活動
	(11)摂食嚥下機能訓練の活動
	(12)薬薬連携の推進（病院薬剤師と調剤薬局薬剤師の連携）★★

多職種連携によるチーム医療



心不全チーム



認知症ケアチーム



2022-10-7
もの忘れ外来

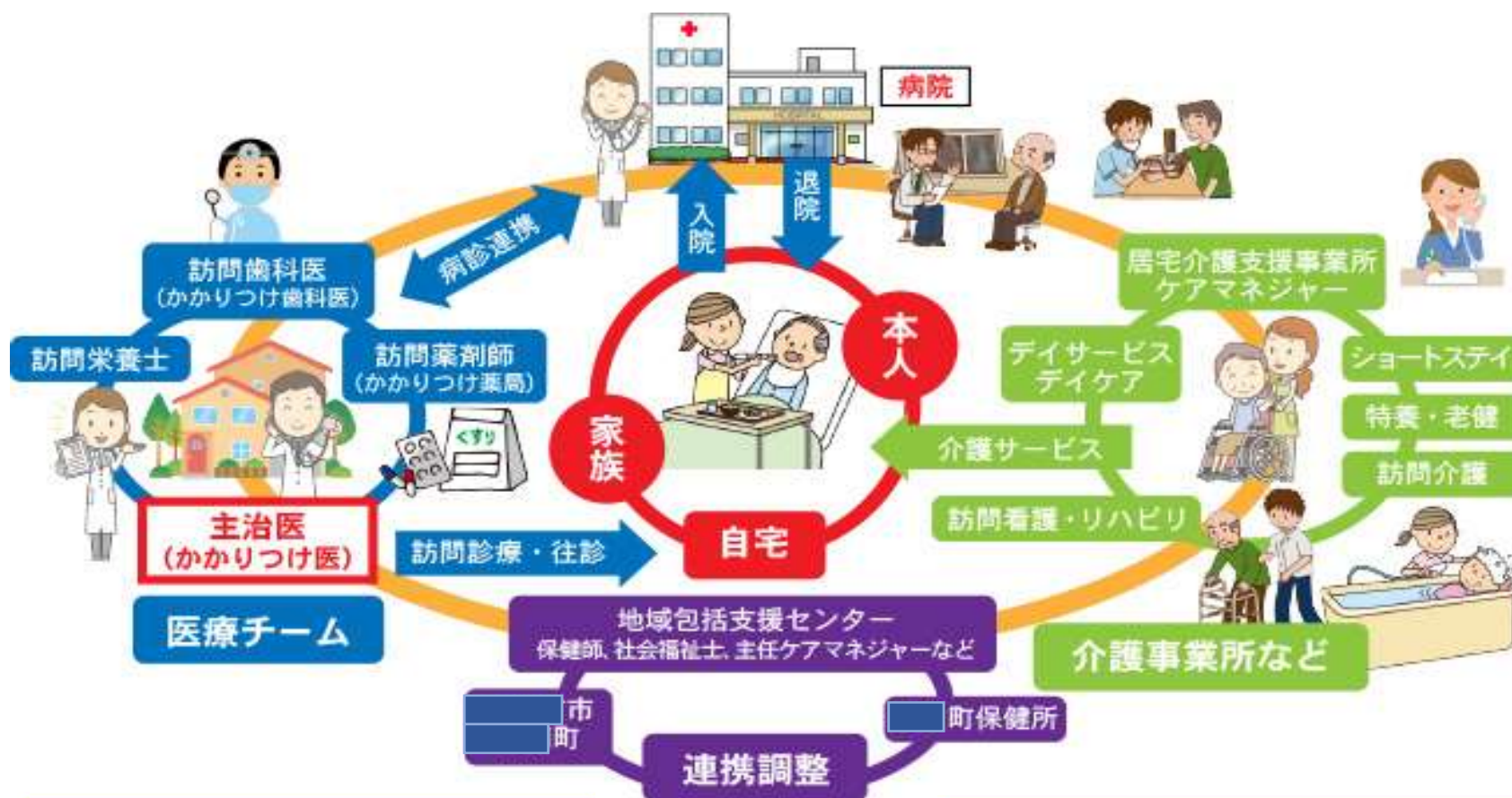
緩和ケアチーム



骨折リエゾンチーム



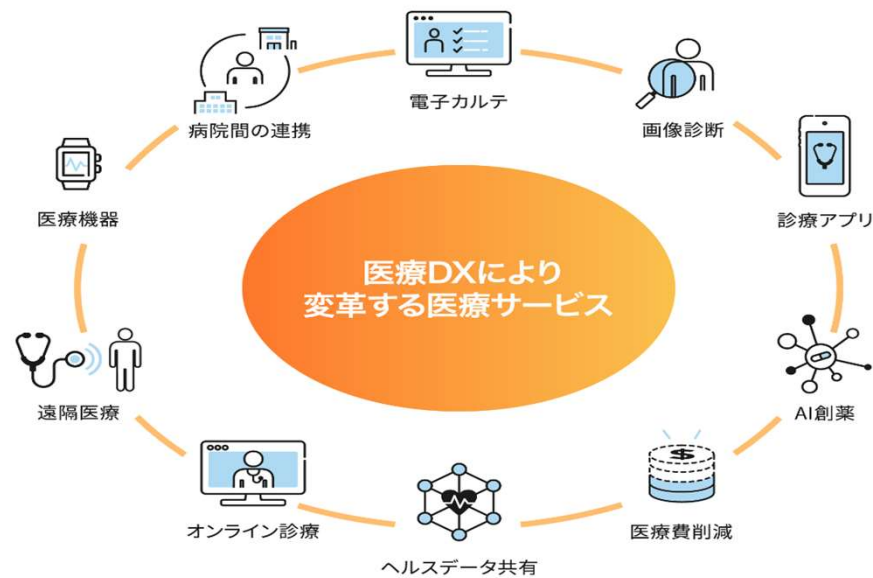
多職種連携によるチーム医療



- ・感染管理認定看護師(2名)
- ・認知症看護認定看護師(2名)
- ・がん化学療法認定看護師(1名)
- ・認定看護管理者(1名)
- ・認定機構糖尿病療養指導士(2名)
- ・熊本県糖尿病療養指導士(16名)
- ・日病薬病院薬学認定薬剤師(1名)

- ・両立支援コーディネーター(3名)
- ・公認心理師(2名)
- ・心不全療養指導士(2名)
- ・脳卒中療養相談士(1名)
- ・がん相談支援センター相談員(6名)
- ・骨粗鬆症マネージャー(4名)
- ・心臓リハビリテーション指導士(2名)

医療DXの取り組み



今日の間診票

スマホでどこでも 内線通話

スマートフォンを内線化することで、オフィスでも外出先でもスマートフォンで内線通話を利用できます。どこにいても内線電話でつながるので、円滑な社内コミュニケーションを実現します。

オンライン 問診

発熱外来用

2023.01.10
発熱外来用 オンライン問診
予約済の方用

ナースボード

時間	患者名	病室	担当ナース	時間	患者名	病室	担当ナース	時間	患者名	病室	担当ナース
11:00	田中 太郎	101	佐藤 花子	11:00	山田 次郎	102	鈴木 一郎	11:00	中村 三郎	103	高橋 美咲
11:00	佐藤 花子	101	山田 次郎	11:00	山田 次郎	102	鈴木 一郎	11:00	中村 三郎	103	高橋 美咲
11:00	山田 次郎	102	鈴木 一郎	11:00	山田 次郎	102	鈴木 一郎	11:00	中村 三郎	103	高橋 美咲
11:00	山田 次郎	102	鈴木 一郎	11:00	山田 次郎	102	鈴木 一郎	11:00	中村 三郎	103	高橋 美咲



熊本県地域医療等情報ネットワーク（熊本県補助事業）

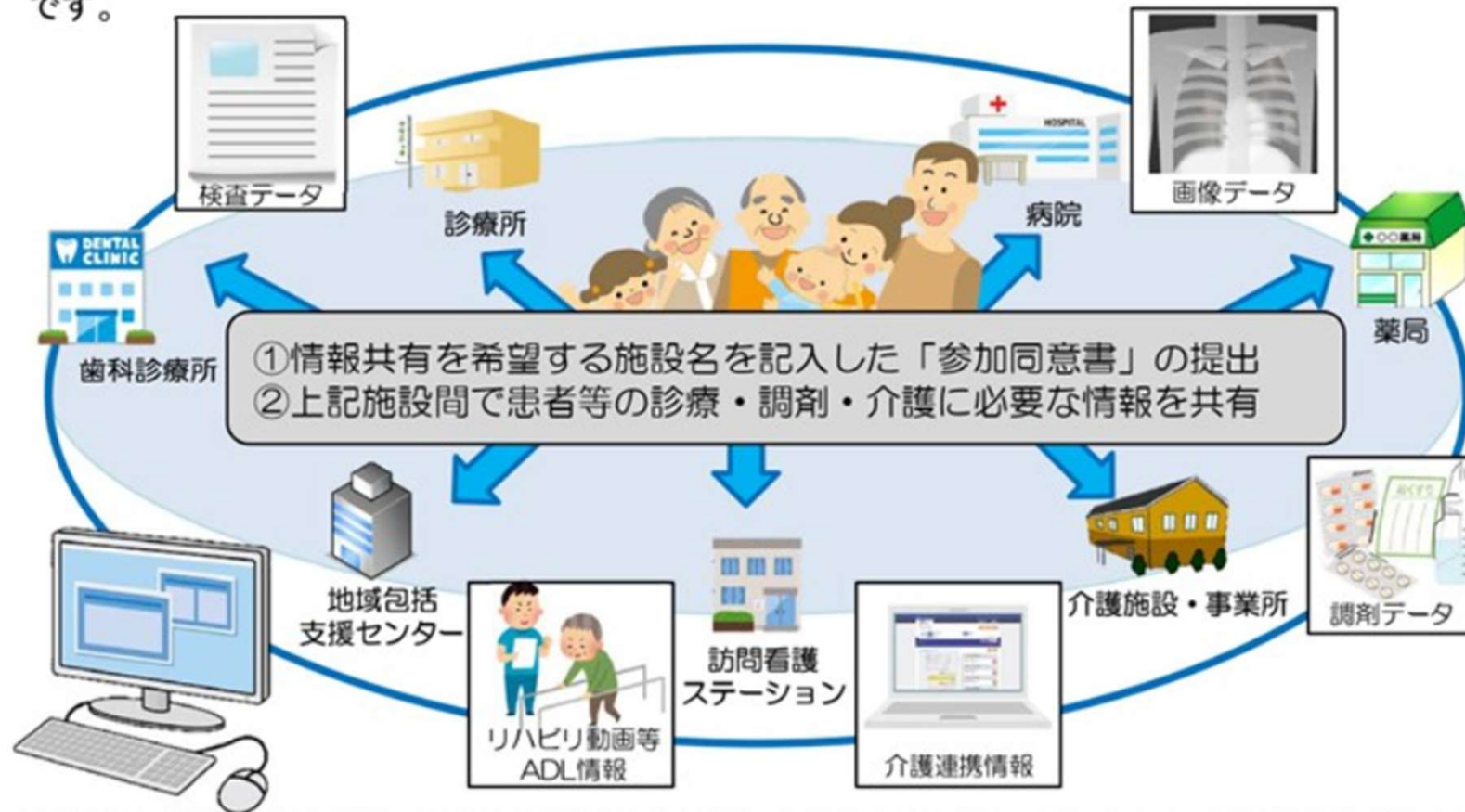
「くまもとメディカルネットワーク」への加入をお願いします！



©2010 熊本県くまモン

『くまもとメディカルネットワーク』とは・・・

県内の病院、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、介護関係事業所、在宅関連施設などを、ICT(情報通信技術)を活用したネットワークでつなぎ、参加者(患者さん等)の診療・調剤・介護に必要な情報を共有することにより、質の高い医療・介護サービスに活かすシステムです。



ご清聴ありがとうございました

今後も、阿蘇の中核医療機関として
阿蘇地域の医療を支え続けてまいります

